

平成29年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【萱沼地域集会施設】萱沼自治会 参加者数：7名

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	第二東名のインターチェンジで、萱沼から通じる道が危険なので、直していただけないか。土佐原の道も危険と聞いている。	まちづくり課	萱沼から秦野へ抜ける道路について、秦野市に確認したところ、「交通量が少ないため、改良の予定は無い。」とのことでありました。 また、NEXCOについても、「用地買収の必要な改良はできない。」とのことでした。
2	七つ星ドッグランは、イヌだけではなく、寄全体が活性化する体制を作るべき。自家製農産物は自己消費のみでなく、売る施設を作ってそこで農産物が見える体制をとってもらいたい。 また、山ビルが夏の間、問題となっている。ドッグラン場は湿気があるので整備すればよいと思う。ドッグラン場を核として整備できないか。	観光経済課	寄七つ星ドッグラン及びカフェは、指定管理者制度を導入して、犬が癒され、人も癒される場所であることをコンセプトに各種事業に取り組んでいます。 本施設を核として自走できる地域づくりを進めていくことも命題としているため、取引可能な農産物の生産量や経理上の手間などを考慮した上での経営者の判断になりますが、施設での販売受け入れも行っていきたいと伺っています。 なお、販売できる場所を探している方には、場所の提供だけでも相談に乗れる旨を確認しております。 夏場の山ビル対策については、ヒルの駆除イベントの開催や、ヒルに関する知識の啓蒙、湿気の多い場所への砂利撒きなどを考えていると伺っています。
3	地場産品等の販売について、出荷する人と売る人の分担ができればと思う。 商売として成り立つ仕組みを作らなければならない。	観光経済課	寄地域で生産された地場産品を購入することができる販売所があることが理想的な環境であると考えますが、現状で対応可能な方法としては、管理センター敷地内で有志の方が取り組んでいる土曜市のほか、寄七つ星ドッグラン及びカフェでの販売が挙げられます。 寄七つ星ドッグラン及びカフェでは、犬が癒され、人も癒される場所であることをコンセプトに各種事業に取り組んでおります。一方で、本施設を核として自走できる地域づくりを進めていくことも命題としているため、取引可能な農産物の生産量や経理上の手間などを考慮した上での経営者の判断になりますが、施設での販売受け入れも行っていきたいと伺っています。 また、販売できる場所を探している方には、場所の提供だけでも相談に乗れる旨を確認しております。
4	シカやイノシシ対策は町と地域で対策しているが、ヤマビルは、住民だけではどうしようもない。製薬会社とタイアップするとか、上郡全体で取り組むとかして実施してもらいたい。	観光経済課	ヤマビル駆除方法につきましては、製薬会社とタイアップしてもらうよう働きかけを行っているところです。 また、県を含めて足柄上郡5町で対策として何ができるのかなど調査・研究してまいります。
5	防護柵の修理について、猟友会では大きく壊れたところは直せない。予算があればすぐに直してほしい。また、町道沿い等、解放されている部分をどうするか考えないと効果はないと思う。	観光経済課	今年度より整備していく予定です。 今後、町道沿い等、解放されている部分についても、地元のご意見を伺いながら順次対応について調査・研究してまいります。 また、町補助金を活用いただきまして、防護柵の設置をお願いします。
6	シカを一定のエリアに集約して囲い込むことはできないのか。	観光経済課	平成27年度に山北町でバスケットコート2面分程度の囲いワナを用いての実証実験をしましたが、捕獲実績がなく、手法として非効率であったと聞いております。 引き続き、調査・研究してまいります。